

多賀城市で小型モビリティによる避難に関する実証実験を行いました（2023/9/1～2）

テーマ：多賀城市で小型モビリティによる避難に関する実証実験を実施
会場：多賀城市役所駐車場・多賀城市 STEP（さんみらい多賀城イベントプラザ）

2023（令和5）年9月1日（金）～2日（土）に、多賀城市役所およびさんみらい多賀城イベントプラザ（以下、STEP）において、小型モビリティ（C+walks）を利用した避難行動に関する実証実験を実施しました。この実験は、安全な避難場所に歩いて移動することは困難な方々にとって、小型モビリティを使用することが避難行動の助けになるか、ということを確認するために、実際に運転していただいた上で、利用のし易さ等についてのアンケート調査によって心理学的な観点からも実験を行ったものです。

この実験は、多賀城市と当研究所の防災に係る連携と協力に関する協定、トヨタ自動車株式会社と本学との包括的連携・協力に基づいて、それぞれから実験要員が参加しました。1日目は多賀城市の職員の皆様のご協力を得て、多賀城市役所駐車場の特設試験場にて、2日目は市民の皆様のご協力を得て STEP にて実施されました。当研究所からは柴山明寛准教授（災害文化アーカイブ研究分野）と齋藤玲助教（認知科学研究分野）、鎌田健一特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が参加しました。実験では、はじめに簡単な運転方法を解説した後に、被験者となっていた皆様に実際にテストコースを運転していただき、運転操作を体験した感想や、実際の避難に役立つか等の観点で、トヨタ自動車のアンケート調査に協力いただきました。

今後アンケートを詳細に分析していきますが、ご協力いただいた皆様には運転操作の簡単さや安全性をご確認いただき、防災に留まらない小型モビリティの有用性や可能性についてポジティブな印象を持つ方が多かったことが確認されました。一方、災害時の利用については、災害の経験から瓦礫の踏破性等についての課題の指摘もあり、また小型モビリティの普及等についてのご意見をいただきました。今後は防災訓練でも小型モビリティの活用を検討する等、より多くの方々が安心して安全に避難できるような研究を進めてまいります。（実証実験の様子は地元のテレビニュースでも放映されました。）



小型モビリティの運転を市民の協力者に体験していただいている様子